



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会 場 帝国ホテル及びオンライン
会 長 山下 江 幹 事 福元 智子
事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <https://tokyochuo-new-rc.jp>

2022-23年度 国際ロータリーテーマ「イマジン ロータリー」

例会報告 第872回 2023年1月30日(月) ハイブリッド例会

出席率 65.31% 出席+接続会員数32名+メンバー0名
(正会員57名-休会8名)

🚩 開始(司会:安原良昭会員)

定刻となりましたのでこれより第872回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、予め個人情報の利用許諾をお願い致します。

🚩 山下江会長 点鐘挨拶

こんにちは。今日もウォームビズで失礼します。

早いもので、明日でもう1月も終わりです。1月いぬる、2月にげる、3月さる、と言いますが、あっという間に時間が過ぎていくようです。

先の金曜日、裁判で富山市に行ってきました。川端康成の「雪国」の冒頭「長いトンネルを抜けると雪国であった」、まさにそのとおりでした。東京では雪を見ていなかったもので、この冬初めての雪を見ることになったのですが、少しのワクワクがありながら、これが日常の雪国の人たちは、本当に大変だろうなと思いました。富山と言うと日本海側、さぞかし時間がかかると思いきや、今は、新幹線で約2時間30分で行けてしまいます。富山裁判は、毎回目帰りなのですが、いつかは、ゆっくり美味しいものでも食べて、少し旅行もして帰りたいなとも思っています。

さて、会員増強について、一言。松岡さんにご入会いただきましたが、それを皮切りに、現在、あと3名の方が入会手続きに入っております。これで4名ですが、目標の新入会員10名まではもう少しがんばる必要があります。と今朝、もう一人この間のゲストできていただいた人から入会申し込むとの連絡がありました。これで5名です。

当たり前ですが、会員はみなさん年々、年をとっていきます。クラブの活性化・維持のためには会員増強が不可欠です。もっといろんな業種の方、いろんな方々が入ることにより、クラブは新しい血を獲得して、元気になります。

クラブに入ると、通常経験できないようなことをいろいろ経験できますし、各業界のトップの方々と交流もできます。人生が豊かになることは間違いありません。

ご自身の知合いに、奉仕活動や親睦活動に興味がある

の方はいないか、今一度、各会員が考えてください。そういう方がおりましたら、ロータリークラブの会合に来てみませんか、入会の検討のためであれば初回は無料参加できます。

と声をかけてもらえればと思います。来ていただければ、時間が許せば、例会後に私がお話することも可能です。

よろしくお願いします。

それでは第872回例会を開催致します。

🚩 ロータリーソング

「それこそロータリー」

🚩 卓話者・ゲスト発表(杉原由佳子会員)

ハイブリッド例会によるご参加下さいました。

本日のゲスト4名です。

- ・特命全権大使外交団長
マンリオ・カデロ 様
- ・秘書 森本 みのり 様
- ・東京南RC 森村 俊介 様
- ・田中会員ゲスト 池田 雅昭 様



山下 江 会長

私が理事長をしているKKC(NPO法人広島経済活性化推進倶楽部)の第49回起業家・投資家・専門家プレゼン交流会が2月11日(土)午後、広島の会場とオンラインにて開催されます。

KKCは、スタートアップ支援、エンジェル投資促進を22年間行ってきた団体です。チラシをボックスに入れましたので、ご興味のある方は御参加ください。

大 盛 敬 子 会員

サンマリノ大使のお話ぜひお聞きしたかったのですが、本日残念ながら出席叶いませんでした。以前に銀座のパーティーでお会いした時の素晴らしいお話今でも覚えております。

海 渡 千 佳 会員

今日も皆さんにお会い出来て嬉しいのでニコニコします。

田 中 結 加 会員

本日はサンマリノ大使マンリオカデロ様の卓話を楽しみにしております。

中里妃沙子会員

今日もニコニコです!!

野 呂 洋 子 会員

なんだかご無沙汰してしましまして申し訳ありませんでした。本年も宜しくお願い致します。

にこにこ合計 13,000 円

社会奉仕委員会報告(水野珠貴会員)

育成園から素敵なお子たち手書きのお礼状が届きました。



親睦委員会報告(富田洋平委員長代行)

ファイヤーサイドミーティングを3月31日(金) 18:00から行います(場所未定)。

幹事報告(福元智子幹事)

- ・本日例会後明山年度第1回被選理事会があります。
- ・2月6日(月) 例会後今年度理事会を予定。

国際奉仕途中経過報告(清宮普美代会員)

山王RCとシティ日本橋RCが今回のインド国際プロジェクトに参加して下さることになり、先日ミーティングに行きました。

インドグルクルから連絡があり、この度アメリカのロータリークラブも参加すること。規模1,300万円以上の見込に発展。インドから資料が届いたら、ロータリー財団に正式申請予定です。

ロータリー財団セミナー報告(明山会長エレクト)

2月8日(水)に10時00分から次年度のための地区ロータリー財団セミナーが開かれます。午後は補助金管理セミナーになります。次年度財団関係の役職の会員はこのセミナーで財団活動の内容がよく分かりますので是非参加下さい。



「駐日外交団長から見た 日本の素晴らしさと サンマリノ神社」

特命全権大使外交団長
マンリオ・カデロ 様



【プロフィール】

サンマリノ共和国特命全権大使
マンリオ・カデロ 駐日外交団長

イタリアのシエナにて出生。

パリのソルボンヌ大学に留学。

フランス文学、諸外国語、語源学を修得。

語源学を修了した後、大手新聞社コリエレ・デッラ・セーラの出版部門でジャーナリストとしてのキャリアを始める。

1975年に来日、東京に移住。1999年までこの業務に従事し、その間外交官としての仕事も開始する。

サンマリノ共和国に関する宣伝活動その他の功績が認められ、勲章も複数受章する。

2003年 聖アガタ大十字勲章、2005年 聖マウリツィオ・ラザロ騎士団上級騎士勲章、2010年 イタリア共和国騎士勲章 など。

1986年に、駐日本サンマリノ共和国の名誉総領事として任命される。

2002年12月、日本初のサンマリノ共和国特命全権大使として任命される。

様々なボランティア活動にも参加。

2009年-2010年 駐日大使代表として平和大使。

2011年5月23日より、駐日外交団団長。

2017年 宗像応援大使に任命。

2018年 竹富・西表応援大使、美ら島沖縄大使に任命。

2020年 かごしま国際友好大使に任命。

現在もサンマリノ共和国の大使として、外交活動を継続中。

日本滞在歴約40年以上に渡り、神道に深く精通し、2014年6月サンマリノに日本の神社が建立された際には日本サンマリノ友好協会と共に尽力。

日本の良さ、文化を広く発信し、書籍も執筆されている。『だから日本は世界から尊敬される』『世界が感動する日本の「当たり前」』(共に小学館新書)

『よいマナーでよい人生を!』(勉誠出版)

【卓話】

皆さんこんにちは! マンリオ・カデロです。本日はよろしくお願い致します。

細かいことは、テーブルに配ったパンフレットに書いてあります。

- ・サンマリノは世界で最も古い共和国であり、唯一生き残っている都市国家であり、ヨーロッパおよび世界の民主主義発展の重要な変遷を代表しています。

歴史によると、サンマリノは紀元301年に創設されました。キリスト教徒のダルマチア出身の石工マリノが、キリスト教を迫害したローマ皇帝ディオクレティアヌスから逃れるためにアルベの島を逃れた時です。マリノはティターノ山の頂上に登り、隠れてキリスト教の信念に従って人々の小さな共同体を創設しました。ダルマチア出身のマリノを記念して、その土地は「サンマリノの国」と改名され、「サンマリノの共同体」と呼ばれ、最終的に現在の名称「サンマリノ共和国」に変更されました。サンマリノは、13世紀から何世紀にもわたり中断されることなく続く唯一の独立した共和国であり、市民自治に基づいた民主主義を確立した見本として、特別な証言者なのです。

サンマリノの憲法は1600年に制定され、現在も使用されている憲法としては世界で最も古いものです。1988年、サンマリノは欧州評議会に加盟し、続いて1992年に国連に加盟しました。

サンマリノ共和国の優れた価値である歴史的・制度的遺産は、2008年にサンマリノのティターノ山と歴史地区がユネスコ世界遺産として登録され認めら

れました。

- サンマリノ郊外に神社があるのを知っていますか？
「サンマリノ神社」と名付けられたその神社は、ヨーロッパで初めて日本の神社本庁に承認された神社です。

ぶどう畑やオリーブの木に囲まれた風景の中にあるサンマリノ神社。2014年に東日本大震災の犠牲者を追悼するために建立され、本殿の一部は伊勢神宮の木を使って作られました。主祭神は天照大御神（あまてらすおおみかみ）で、宮司はサンマリノ人のフランチェスコ・ブリガンテ（Francesco Brigante）さんが務めています。サンマリノもイタリアと同様敬虔なキリスト教国家なのに、日本の神社があるって不思議な感じがしますが、実はイタリアでは若者のキリスト教離れが進んでおり、キリスト教から仏教や神道へ改宗する人も増えており、仏教に改宗したというイタリア人もおります。

- サンマリノ神社ワイン
ラベルには毎年の干支
神社周辺のぶどうから造ります。
寅年ラベル 常若（とこわか） San marino jinjomiki wine
卯年のワインは今醸造中。

（要約文責 宮下）

